



Gifu Keizai University

KUN

岐阜経済大学マガジン

vol.
75

W!

2010.JUNE



【特集】②

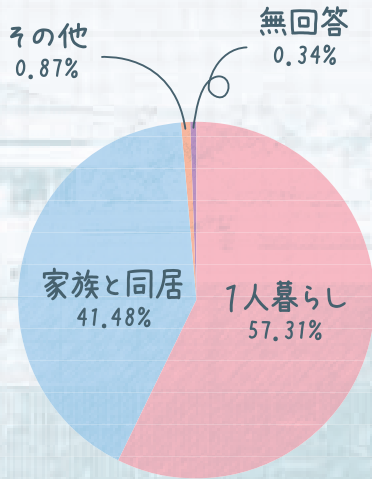
岐阜経済大学生の生活大解剖

- ⑥ 交流の輪を広げよう
「海外語学研修」「交換留学生紹介」
- ⑧ 輝け！アスリートたち
- ⑩ キャリア支援課だより
- ⑫ 研究室だより
- ⑬ 教育最前線「企業人育成コース」
「映像プロモーション論の授業」
- ⑭ キャンパス彩々
- ⑯ オープンキャンパス日程／父母懇談会日程／教職員人事



岐阜経済大学生の生活大解剖

岐経大生は、毎日どのような生活を送っているのか、1人暮らしが多いのか？ 何で通っているの？ クラブには入っているの？ アルバイトはしているの？ などいろいろな面から岐経大生の生活を大解剖してみます。

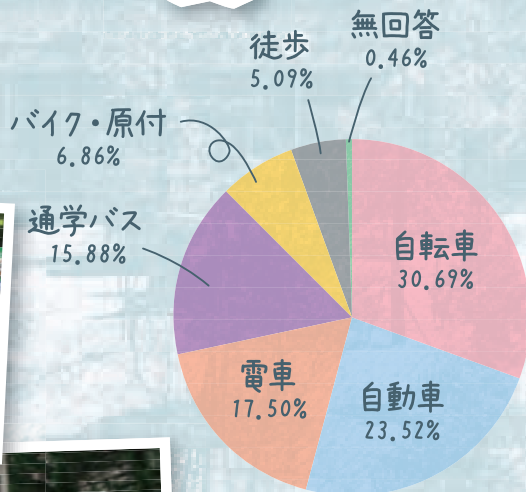


君は1人暮らし？ それとも家族と同居？ 何で通学していますか？

本学学生全体の約6割が1人暮らし。通学は自転車、自動車通学が50%。

スポーツ経営学科が設立されてから、1人暮らしの割合が増えています。通学は、自転車通学が全体の30%で一番多く、次に自動車の割合が多いです。これは、本学には、500台収容の無料駐車場があるためです。次いで公共交通機関である電車、バスが多く、これは大垣駅から大学間のバス料金が2006年4月から無料になったことが考えられます。

君は1人暮らし？



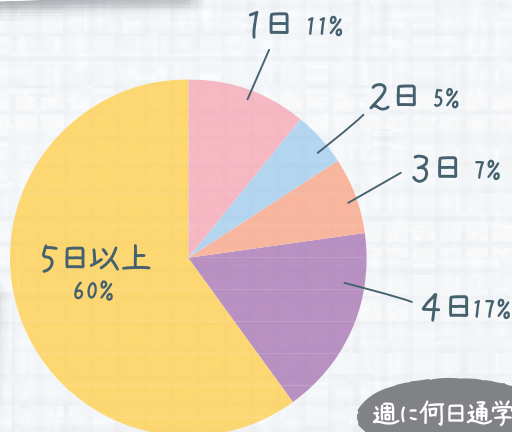
通学方法



大学に週に何日通学？

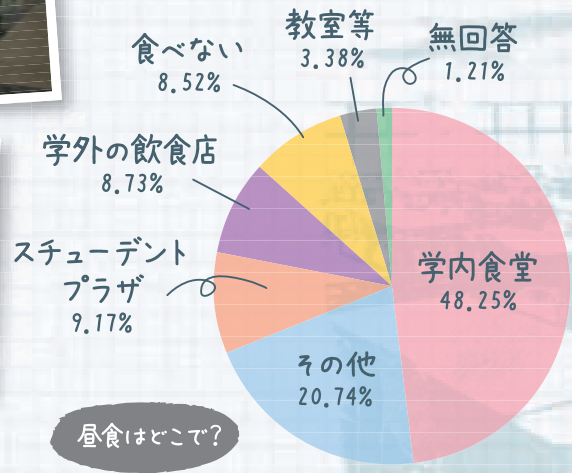
学生全体の約6割が週に5日以上。

1、2年時の語学や体育をはじめ出席を重視する授業が多く、平日は毎日大学に来る学生が多いです。基本的に4年生は、週に1度、演習Ⅲの授業にだけ来るようになります。



週に何日通学？





昼食はどこで?

昼食の場所は、半数が食堂を利用。

学生の半数は、食堂を利用します。左図からみると、学外の飲食店や学生プラザ(3号館)を利用する学生も20%近くいることがわかります。食事は大切。しっかり食べましょう。



友人は何人? 知り合ったきっかけは?

友人の数は、10人以上と答えた学生が全体の約70%。

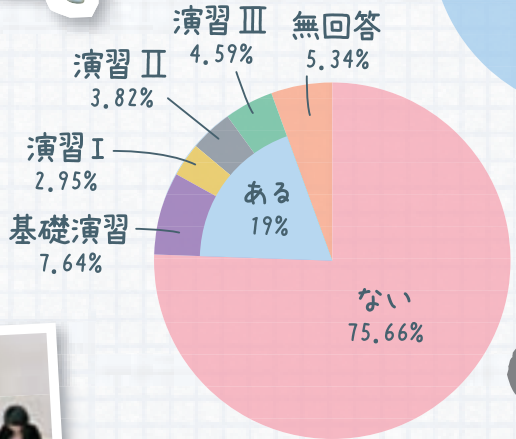
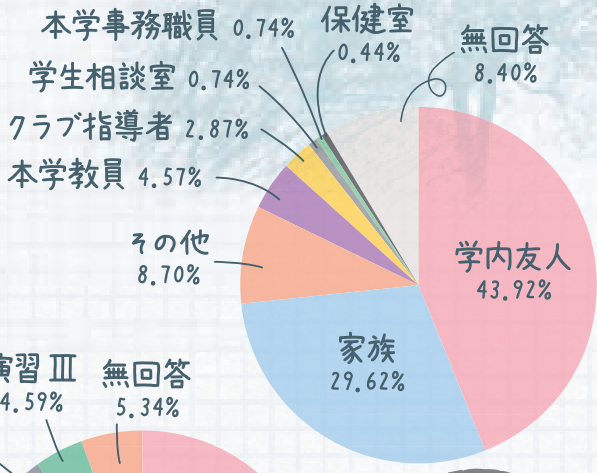
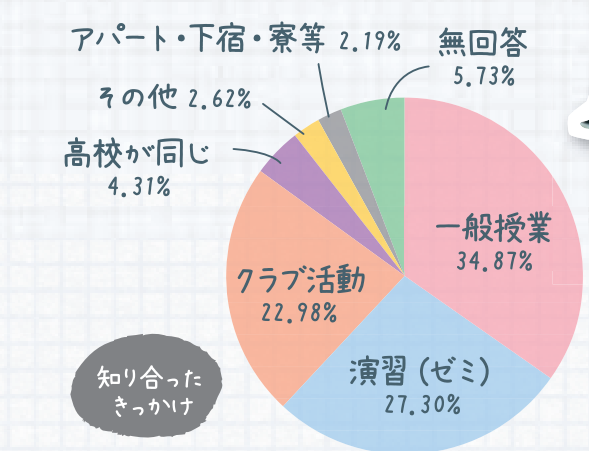
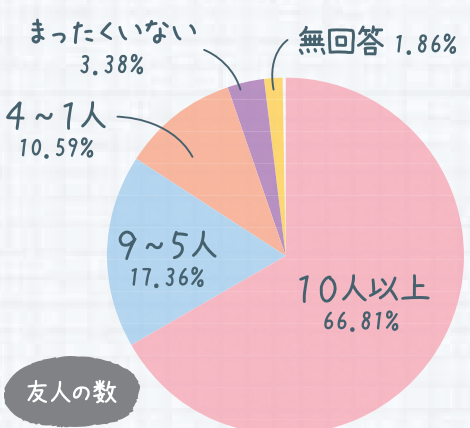
特にスポーツ経営学科所属の学生は、全体の20%が「友人の数10人以上」と答えています。友人と知り合ったきっかけを尋ねると、一般授業と回答した学生が全体の30~40%と一番多く、次に演習、クラブ活動と続きます。本学では、1年生から少人数教育を導入しており、演習や授業を通じてできる友人が多いといえます。スポーツ経営学科を中心にクラブ活動がきっかけとなった友人が多く、人間関係の絆が強いです。



相談するのは誰?

相談相手は、学内の友人。

学生生活上の悩み、心配事の相談相手を探したところ、学内の友人が全体の40%と一番多いです。学生間では、先の結果からもわかるように友人間の人間関係の信頼は強いようです。反対に演習の教員に相談したことがある学生は、20%と低い結果でした。



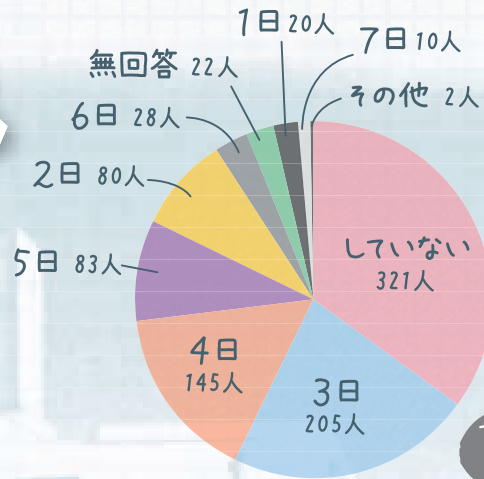
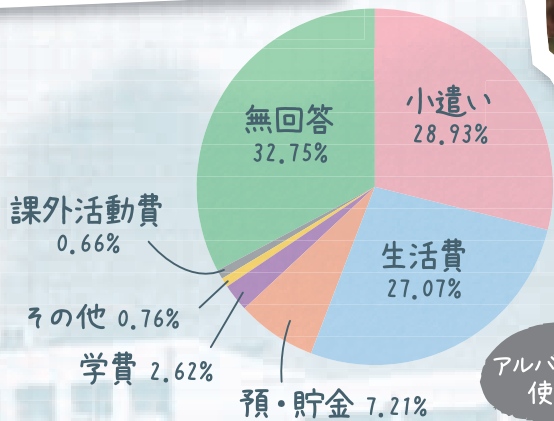
岐阜経済大学生の生活大解剖



アルバイトはする派？しない派？ アルバイト代の使い道は何？

アルバイトをしている学生は、全体の2/3。
日数は週に3~4日。

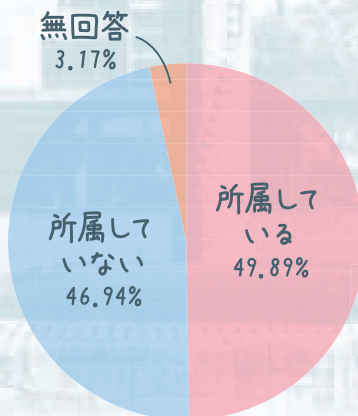
アルバイト代の使い道は小遣いや生活費が一番多いです。1人暮らしをしている学生は、生活費が30%近くを占めていて、アルバイトは必須になっています。家族と同居の学生は、小遣いにあてています。次に預・貯金にあてる学生が多く、学費にする学生は、ほんの少数です。



クラブは入っていますか？

クラブ活動に所属している学生は、全体の半数。
スポーツ経営学科は、約6割。

スポーツ経営学科の学生は、入学前からスポーツ系クラブで活躍したり、スポーツ好きが多いため、所属率は高いです。臨床福祉コミュニティ学科は、少人数学科で、授業、ゼミ等を通じて団体の和がまとまりやすく、友人を誘って入るため、クラブ所属率も50%を超えています。



岐経大生の生活は……

通学に自転車、自動車を利用し、平日は毎日、大学に来て授業を受けながら、友人たちと交流を深め、各自の悩みを相談し、夕方はクラブ活動か、アルバイトに勤しむ毎日を送っています。

学びの地 大垣

大川 美佐子さん（静岡県）

大学でも競争を続けたいという息子が選んだ、岐阜経済大学。監督や先輩方に温かく迎えられる、華やかにスタートラインに立った。しかし、初めての一人暮らしで、自分を律し選手生活を優先することは、彼にとって難しいことであった。多くの挫折から目標を見失い、笑顔が消え、精神的に追いつめられ、体調まで崩しはじめた時には、とにかくもう一度息子の笑顔が見たいと願ったこともある。しかし、彼は見失ってはいなかった。それは、卒業後の自分の姿。その夢を叶えてくれたのが、陸上競技部の監督、そしてキャリア支援課の先生方である。

以前の自己肯定感の低いままだったら考えられないことだ。思いがけず就職試験の面接で、他の会社をひとつも受けていないことを問いつめられた、叱責された時も、彼の信念は揺らがない。そしてこの春、念願の企業での新入社員研修がはじまった。

私自身も親和会の役員をやらせていただき、大垣を何度か訪問した。息子が学ぶ大学はもちろん、日頃お世話になっているみなさまや学友のみなさんとお会いし、遠く離れた大垣の地で、多くの方に支えられていることに安堵し、嬉しく思った。この地で、学んだこと、経験したことが、今の彼の土台となっている。これからも人の輪を大切に、人生を謳歌して欲しい。

学生の活躍の場

清水 茂さん（岐阜県）

息子は、一年次の基礎演習で鈴木ゼミに入りました。一年次の時の息子は、人前に出て話す事や、一つの事に集中して取り組む事が苦手でした。

しかし、二年次にゼミの延長でもあるマイスター倶楽部に所属する事で変化が見えてきました。その倶楽部の中で、TMN（土まるけネットワーク）グループに入り、学外に出て様々なイベントや、地域の人たちと触れ合う事で、人間性を磨く場になったようです。

そして三年次には、倶楽部の代表をやらせていただき、責任感が身についたと思われるようになりました。また、人と話す事が自然と出来るようになりまし

た。これから先、社会に出た時に一番大切なのは、人と人とのつながりであり、それは、信頼関係であると考えます。それを築きあげる

には、何事にも責任を持った行動をとってもらいたいと思っています。

学生生活最後の四年次には、倶楽部のOBの方々との交流がより深まり、私たちに話せない事でも何でも気軽に相談に乗って頂いていたようです（笑）。そんな方々に支えられた息子は、充実した学生生活を送れて幸せだと思います。

それも、学生が活躍できる場であるマイスター倶楽部のおかげだと思います。

さらに、そんな学生が活躍できる団体のある岐阜経済大学は、とても魅力的だと感じます。学生の方たちも、もっと外に出て活躍し、岐阜経済大学の名前をひろげてもらいたいです。そして、地域により密着した学校創りを目指してもらいたいです。

保護者の立場から

大城 源勇さん（沖縄県）

我が家から初めて県外進学で息子を出す事になり、親の心配をよそに早く自立したい気持ちを抑えることができない合格通知が届いた頃、そして入学が近づくにつれ、不安な気持ちを親に気がつかれない様に気丈に振る舞っていた息子も今年4月より沖縄県内で無事に就職することができ、社会人として一歩踏み出しました。

思えば本人が決めた大学、施設はどうだろう。地域の環境はどうだろう。私自身、息子以上に不安な気持ちを抑えて入学前にキャリア支援課の硬式野球部塚田総監督紹介のアルバイトを見ながら大家さんに挨拶し、キャンパスまで寄らせてもらいました。入学前にパンフレット等を頂いておりましたが、実際、目の前に立派な建物、運動部等の施設、

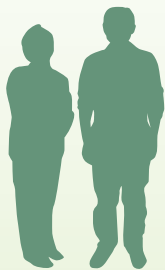
設備等を垣間見て、すべてが想像以上で感動したことを今もはっきりと覚えています。

息子がアルバイトで一人暮らしをして半年、今度は家内を連れてキャンパスを見て回り、アルバイトで息子としばし雑談。息子と別れ、ふとレンタカー助手席の家内を見てみると目を真赤にし、「父さん、10kgは痩せていたね。ちゃんと自炊はしている」と本人は言っていたよね」と、思わず私までもらいい泣きました。

2年生、3年生と進級するにつれ目標単位取得と部活、アルバイトと日々たくましくなる息子を見ながら、知人、友人、アルバイトの大家さん、大学の先輩、先生方、キャリア支援課、野球部監督、コーチ、仲間、そして地域環境が本人にとって大変素晴らしい場所だったと思います。

毎年大学側より開催されます親和会（保護者会）で学生の現在の状況、大学側の取り組み等の説明があり、その際、個別相談にも対応して頂き大変満足しております。特に昨年は谷江学長自ら沖縄まで時間を作ってお越し頂き感謝申し上げます。

息子が4年時初期より就職活動で粘り強くサポートして頂いたキャリア支援課のスタッフの皆さん本当にお世話になりました。新卒の就職が大変厳しい日本経済ではありますが、社会から必要とされるより多くの人材が岐阜経済大学より輩出されることを祈願しております。



Guardian

交流の輪を広げよう!!

海外語学研修レポート

もっと英語を学びたい

杉山 怜奈さん スポーツ経営学科2年
(滋賀県 草津東高校出身)

た新しい世界を知ることができ、私自身視野が広がった気がします。1年前に大学のこの研修の制度を知ってから、この研修に参加することを大学生生活の1つの目標としていました。ハワイに到着した日から慣れない環境の中で生活して、私自身大きく成長することができました。日本では実家暮らしをしている私が、海外で初めての一人暮らし。一人で生活してみて、家族の大切さや愛情を受けて育っていることを改めて感じました。この3週間で語学やコミュニケーション力がついたのは勿論、それ以上に各国の人と知り合い、たくさんの自然に触れ合い、親切な人に囲まれて過ごしたことは、私にとってかけがえのない経験となりました。本当にNICEのプログラムに参加してよかったです。また機会があれば今度は長期で海外へ行きたいと思いました。



杉山さん



ハワイで過ごした3週間は、私にとって初めてのことが多くて毎日がとても新鮮でした。初めて通ったハワイ大学はとても広く驚きました。私が受けたプログラムには200人ほどが参加していました。日本人、韓国人がほとんどでした。初日に受けたリスニングと面接のクラス別テストでは、本場の発音のよさからか日本で受けるテストより難しく感じました。

私のクラスは、DOADYというおばあさん先生でした。1つ1つ優しく教えてくれて親しみやすかったです。日本と大きく違う授業内容は、教科書を使わずに実際に会話することを中心とした授業だったということです。私たちが少しでも英語に親しみを感じやすくするために、授業の中で簡単な英語のゲームを用いてくれました。また、授業の一環としてハワイ大学の学生とのイ

ンターチェンジの時間がありました。インターチェンジはハワイ大学の学生と私の参加していたNICEのプログラム生が交流をします。各日で行われ、1回30分程度同じ学生同士で互いの国の話や、趣味や家族のことなどたくさん話せる機会です。

このプログラムの参加者は皆、英語を学びたい!と、意欲的なので私もとても刺激されました。毎時間、毎日が楽しいプログラムの授業はあっという間に終わりました。最終日のGRADUATIONのとき、このままハワイに残ってもっと英語を学びたい!もっと外国の文化に触れたい!という気持ちでいっぱいでした。

この研修に参加して、日本とは違ったま

海外語学研修に参加して

藤井 奈央さん 臨床福祉コミュニティ学科3年
(岐阜県 大垣南高校出身)

私が今回、海外語学研修に参加しようと思いついたのは大学でドイツ語を履修したことがきっかけでした。講義でドイツ語を学ぶうちにドイツという国への関心が高まり、実際に現地へ行ってみたく思っていたところ、この研修の事を知りました。特に、ドイツへの海外語学研修の場合、宿泊形態がホームステイだったため、勉強以外にドイツの日常生活を体験できるというこ

とも魅力を感じました。

しかし、私は今まで海外への渡航経験が全くなかったため、一人で行くことへの不安は絶えずありました。ましてやドイツ語もあやふやな上に英語でさえも得意ではない私が日本と異なる文化の中での生活に馴染むことが出来るのかと考えるととても不安でした。しかしそれでもドイツへ行きたいという気持ちの方が勝っていました。また、このような経験は学生である今だからこそ出来るものだとも思ったからです。

そしてついに始まったドイツでの生活。思っていた以上に毎日が新鮮で充実した3週間でした。ドイツ語で行われる授業を理解することはなかなか大変でしたが、5人程のクラスだったため、きめ細やかな指導を受けまし

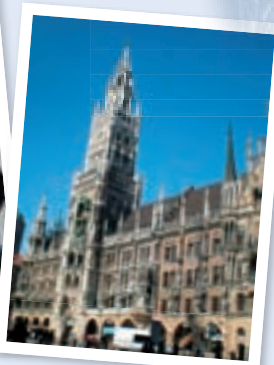
た。また、堅苦しい内容ばかりではなく、ゲーム等もたくさん取り入れられていてとても和気あいあいとした雰囲気の中で勉強することが出来ました。

ホームステイだった私は、一人暮らしの女性の方のお家にお世話になっていました。とても明るく優しい方で、夜にはその日あったことを話したり、一緒に買い物に行ったりして過ごしました。家には他にも中国人のご夫妻とインド人の男性、そしてルームメイトのスイス人の女の子がいたため、家に居ながら国際交流ができとても刺激的でした。この研修が充実していたのはホームステイのおかげだと言っても過言ではありません。

この研修を無事に終えられたことは自分に対する自信にもつながりました。不安なこともありましたが、自分自身が成長するためのチャンスでもあると信じ、思い切って挑戦してみて本当に良かったです。



藤井さん



GERMANY

L'expérience en France

西川 広樹さん 経済学科3年
(新潟県 長岡明德高校出身)

2009年夏。3週間のフランス語学研修のため、ブルゴーニュ大学の語学学校 CIEFへ短期留学しました。

早朝のシャルル・ド・ゴール空港に降り立つと日仏文化協会の日本人現地スタッフが出迎えてくれました。ブルゴーニュ大学のあるディジョンまでのTGVの同行と、入学、入寮手続きをサポートしてくれます。

寮は改装されたばかり。新しくシャワー、トイレの完備された個室へと入ることができました。各部屋にネット回線(有線)も用意されているし、大学内は至るところでWi-Fiを利用できます。

授業の方は、通学初日はオリエンテーションとレベル分けテストで、留学生は日常会話が可能レベルからまったくフランス語を知らずに来たというツワモノまで

様々であり、自分のレベルにあった授業を受けることができます。

語学授業のあとに文化、歴史、政治などのオプション授業があり自由に参加できます。先生は教える意欲充分で、生徒も積極的にディスカッションする大学らしい授業を味わうことができます。

ちなみにお昼休みは2時間あり、ゆっくり食事をしながら、いろいろな国の学生たちとコミュニケーションができます。雰囲気がゆったりとした国なのでとても一日が長く感じられ、密度の濃い時間を過ごすことができました。

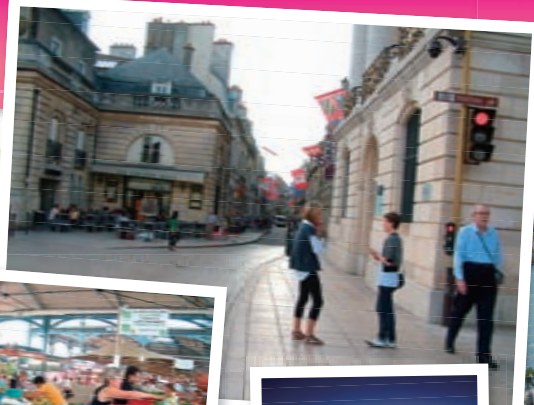
ディジョンはとても趣のある中世の街です。日本と同じように郊外に大型店舗が進出しているにも関わらず、古くからの商店街にもぎわっています。週末に開催されるマルシェ(市場)も見逃すことはできません。

週末は大学の主催するエクスカージョンに参加することもできます。個人的に旅行することもできます。自分は2週目の終わりに、パリにホテルを予約して1泊2日のパリ観光をしました。

今回の研修の成果としては、出国前に仏検4級まで取得しましたが、実際はほとんど実用にならないレベルのものであり、3週間でなにか実になるのだろうかと不安でした。

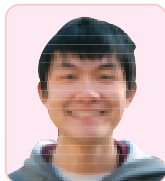
帰国前日に現地のフランス人スタッフから電話がかかってきました。スタッフは日本語はおろか英語もほとんど話せません。「授業どうだった?」、「明日何時の電車に乗るの?」、「寮まで迎えに行くよ。」と会話が流れました。

ふと考えてみると、ちゃんと受け答えができています。3週間の成果があったように感じました。「語学は習うより慣れろ!」今年も自費で行こう! そう思わせてくれる語学研修でした。



FRANCE

上海财经大学から2人の交換留学生を迎えました



ロ テンキョウ
魯 天強さん

日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか。

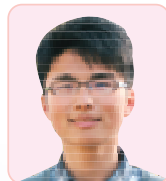
日本のアニメが大好きで、日本語能力検定試験1級を習得しようと思いました。上海财经大学から2級の資格があれば、日本に留学できると聞き、もっと日本語を勉強したいと思い、日本にきました。

上海财经大学では、何を学んでいますか。岐阜経済大学を選んだ理由は何ですか。

経済を学んでいます。コーポレートファイナンスを専攻しています。日本語で面接を受けたのは、本学と一橋大学で、日本語で授業をするのは、岐阜経済大学なので本学を選択しました。

岐阜経済大学で学ぶにあたって期待することは何ですか。

日本語を勉強して、1年後には、より日本語が上手になりたいと思っています。また、日本の友人をたくさん作り、日本と中国の交流する機会がより多くなることを期待しています。経済学科に所属するので経済を勉強し、国際経済に強くなりたいです。



チン シュン
陳 舜さん

日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか。

日本文化に興味があります。日本と中国では考え方が違うと思いますが、より両者がわかりあい、両国の文化を伝えたいと思っています。そのために、日本語を勉強し、両国の交流がより多くなることを期待しています。

上海财经大学では、何を学んでいますか。岐阜経済大学を選んだ理由は何ですか。

日本語と経済(国際経済)を学んでいます。他の大学は、英語で面接する大学が多く、岐阜経済大学と一橋大学だけ、日本語で面接を受けました。日本語で授業があるのは、岐阜経済大学なので選択しました。

岐阜経済大学で学ぶにあたって期待することは何ですか。

経済学科に所属し、日本語を上手になり、日本の友人をたくさん作りたいと思っています。日本と中国の交流する機会がより多くなり、両国間で考え方を越えた交流を深められることを期待しています。また、中国では、親に食事とか身のまわりの世話をしてもらいましたが、日本に来て、自炊して、男として独立したいと思っています。



輝け！アスリートたち



陸上競技部
TRACK AND FIELD

東海学生春季大会にて 2種目で優勝

知多運動公園陸上競技場
2010.4/11

男子走幅跳 記録 7m27cm

優勝 木本 祥仁
スポーツ経営学科4年(南伊勢高校出身)

男子三段跳 記録 15m18cm

優勝 西川 祐也
経営情報学科(現情報メディア学科)4年
(高島高校出身)

*上記記録は、全日本学生個人選手権の
参加標準記録を突破する記録でした。

男子ハンマー投 記録 53m14cm

2位 加藤 大輔
経営情報学科(現情報メディア学科)4年
(一宮工業高校出身)

女子4×100mリレー 記録 49秒11

- 3位
- 1走 樋口 恵美
スポーツ経営学科3年(下諏訪向陽高校出身)
- 2走 鈴木 咲子
スポーツ経営学科1年(東海大学付属翔洋高校出身)
- 3走 鳥居 桃子
スポーツ経営学科2年(東海大学付属翔洋高校出身)
- 4走 森川 美穂
スポーツ経営学科1年(東海大学付属翔洋高校出身)

女子走幅跳 記録 5m36cm

3位 増田 マキ
スポーツ経営学科1年(島田商業高校出身)

4月11日(日)、知多運動公園陸上競技場にて、東海学生春季大会が行われました。
気温の高い中、本学陸上競技部の今年になって最初の大きな大会として、90名(そのうち1年生は30名)の陸上部員が出場し、2種目(男子走幅跳、三段跳)で優勝を飾りました。
1年生にとっては、大学生活最初の大会で、先輩方と混じって好成績をあげ、陸上部の一員になったことを感じる充実の大会となりました。成績は左記のとおりです。



伊藤 良恵
コーチ



増淵 まり子
アドバイザー



川崎 千明
監督



女子ソフトボール部
WOMEN'S SOFT BALL



女子ソフトボール部発足



女子ソフトボール部が今年の4月に発足しました。川崎千明監督、増淵まり子アドバイザー、伊藤良恵コーチと実業団リーグや五輪での経験をもつスタッフを迎えることができました。これから、準強化指定クラブとしてバックアップしていきます。
川崎監督の抱負
2010年4月に女子ソフトボール部が発足しました。今年度は部員数も少なく、対外試合もありませんが、競技スポーツの基礎は「体力」と「耐力」。今年はずまず心身の基礎をしっかりと固め、3年以内のインカレ出場を目標にがんばって行きたいと思っておりますので、応援よろしくお願いします！





スキ一部
SKIING

全日本学生スキー選手権大会で総合優勝(4部)

長野県白馬
2010.1/18

1月18日(月)、長野県の白馬にて行われた「秩父宮杯・秩父宮妃杯・寛仁親王杯第83回全日本学生スキー選手権大会(4部)」において、本学から出場した学生チームが総合優勝しました。優勝により、本学は3部に昇格決定し、次回からは3部でのエントリーとなります。本学から出場したのは左記の4名。



中田 優一郎さん

スポーツ経営学科卒業生
(富山第一高校出身) スキー部

三浪 清平さん

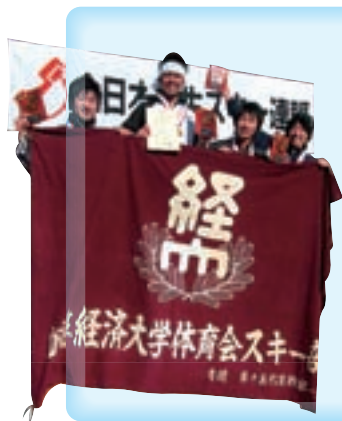
臨床福祉コミュニケーション学科3年
(益田清風高校出身) スキー部

深石 佳佑さん

スポーツ経営学科卒業生
(上越総合技術高校出身) 男子バレー部

松野 広樹さん

スポーツ経営学科卒業生
(安塚高校出身) 陸上競技部



ボート部
BOAT



堀内俊介監督が就任

堀内俊介監督は、慶応義塾大学時代からボート競技で活躍されています。1982年から東レ株式会社ボート部に所属し、1983年から1986年まで、全日本選手権男子シングルスカルにおいて優勝し、1982年・1986年には、アジア大会男子シングルスカルにおいて準優勝しています。1984年には、ロサンゼルスオリンピック男子シングルスカルにおいて、日本代表として出場しています。



硬式野球部
BASE BALL



中ノ瀬幸泰コーチが就任

中ノ瀬幸泰コーチは、1991年3月、西濃運輸株式会社の野球部に投手として入社し、1995年阪神タイガースにドラフト2位指名を受け、4年間、プロ野球選手として活躍されました。1999年12月にアマチュア(西濃運輸)に復帰された後、2005年に現役を引退されてから昨年までは投手コーチとして手腕を発揮され、西濃運輸野球部の都市対抗野球大会出場に大きく貢献されました。

2010年4月より、本学硬式野球部コーチに就任され、硬式野球部の指導にあたられます。

自分らしいキャリアを
創っていくために

2009年度の就職状況総括

一昨年に突然起こった世界的な金融不況を契機に、国内の新卒採用市場は急激に縮小し「売り手優位」から「買い手優位」へと一転しました。「100年に一度」とまで形容された現在の不況は、「就職氷河期の再来」とか「就職新氷河期」とも語られています。不況の波が外需から内需へと移り広がる中で、採用抑制の渦は次第に全ての業種を巻き込みました。採用計画を下方修正する企業、予定数に満たないまま採用活動を終了する企業が相次ぎ、全国の新卒大學生の内定率は年間を通じて低位に推移しました。採用側の企業からすれば、厳選採用による優秀な學生が確保でき「質の重視」を求めた年度でありました。

2010年3月卒業生
就職率

95%

●卒業生の声

私は、キャリア支援課を、こう活用しました



久富 啓太さん

大垣信用金庫入社

2010年3月経済学科卒業
岐阜県 大垣工業高校出身
ファイナンシャルプランナー3級を
本学資格講座で取得

私は就職活動においてキャリア支援課を大いに活用させていただきました。私の活用の仕方はほとんどが相談でした。就職活動を始めた当初は金融関係の仕事に就きたいと考えていただけで、特に業界研究を進めていたわけではありませんでした。しかし、キャリア支援課に行き、金融関係に行きたいということと話しただけで、多くの情報を教えていただけ、とても勉強になりました。特に企業展や合同企業説明会のような主要なイベントについては、ほぼ全てをキャリア支援課で教えていただきました。就職活動も中盤になり、エントリーシートの提出や面接も始まってきた頃は、エントリーシートのチェックをしていただいたり、面接で聞かれそうなことを事前に教えていただいたりと大変面倒を見ていただきました。私はキャリア支援課のおかげで就職できました。

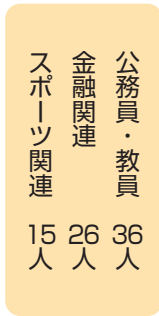
資格講座を開講します

本学では、在学中に資格を取得したり、専門的な技術を習得しようという意欲をもつ皆さんをバックアップするため、以下の15種類の資格・教養講座を開講します。各自のステップアップのため、ぜひ積極的に受講してください。

	講座名	開催時期	申込期間	受講料(円)		テキスト代(円)
				初回受講	再受講	
1	日商簿記2級検定	5/14~2/25	4/5~4/30	30,000	15,000	15,000
2	日商簿記3級検定	4/21~11/13 初日は体験講座	4/5~4/30	15,000	7,500	3,675
	日商簿記3級検定(夜間コース)	5/12~11/10	4/5~4/30	15,000(テキスト代含む)		
3	日商販売士2級検定	8/28~9/17	4/5~8/12	16,000	8,000	10,400
4	日商販売士3級検定	5/15~6/19	4/5~4/30	11,000	5,000	5,200
5	ビジネス能力検定2級	9/17~10/30	4/5~9/3	16,000	8,000	4,000
6	ビジネス能力検定3級	5/8~5/29	4/5~4/23	10,000	5,000	4,000
7	ニュース時事能力検定3級	5/12~6/19	4/5~4/30	5,000	—	6,735 (検定料3,900円含む)
8	ファイナンシャルプランナー2級F P技能士(AFP)	5/8~12/28	4/5~4/28	35,000	17,500	8,400
9	ファイナンシャルプランナー3級F P技能士	5/1~7/31	4/5~4/21	15,000	7,500	6,300
10	保育士試験対策	4/21~7/29	4/5~4/20	40,000	20,000	約10,000
11	公務員試験対策Ⅰ	5/12~12/22	4/5~4/30	40,000	20,000	10,500
12	公務員試験対策Ⅱ	2/18~2/22	4/5~2/8	15,000	7,500	※公務員・教員共通 テキスト初回受講 生のみ購入
13	教員試験対策Ⅰ	5/12~12/22	4/5~4/30	40,000	20,000	
14	ITパスポート試験	10/9~3/12	4/5~9/24	30,000	15,000	
15	CAD講座(CATIA)	8/16~8/20	4/5~7/15	20,000	—	7,000

本学の状況

結果的に、厳しい環境下で良く健闘したと言えます。個々の就職先を見ても、公務員・教員や金融関連またスポーツ関連企業へは、例年以上の人数を輩出することができました。



その他、金融・スポーツ関連を除いた上場企業・上場子会社へも31人の就職者（内定者45人）を出したことは、後輩を多いに勇気付けたことでしょう。

この年の先輩たちは、キャリア支援課が主催した学内企業セミナー・金融セミナー・就職活動特別講座・就活サークル等への参加意欲も高く、また4年次においても資格に挑戦する学生も多くなりました。在学生の皆さんも、「先輩に続け」とキャリア支援課を大いに利用して下さい。

就職までのスケジュール

キャリア支援課では、1〜3年次までのキャリア形成の授業を通して知識の積み上げだけでなく、就職活動に役立つ自己分析・業界研究・ビジネスマナー等多くの企画を組んでいます。今年から3年次のキャリア形成授業は、3クラス編成の授業も一部取り入れ更に充実させています。

今日、企業の採用活動早期化に伴い、全国の大学生が3年次の10月から就職活動をスタートさせます。学生の中には、秋からの合同説明会に参加しているだけで就職活動を行っているとの勘違いしている学生もいますが、採用されるには個々の企業説明会に参加してエントリーを行う等、志望の意思表示をしなければなりません。長いようで短い就職活動、皆さんには3年次の前期から準備をしておくことをお勧めします。

就職までのスケジュール 1年次から就職を見据えて、社会人として必要な力を育成します。

月	1年次	2年次	3年次	基本的な就職活動	4年次
	本学行事およびキャリア形成授業				就職活動
4	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 資格・試験対策講座ガイダンス 一般常識試験（自己発見レポート） 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 資格・就職試験対策講座ガイダンス 一般常識模擬試験（START） 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション 資格・試験対策講座ガイダンス 一般常識模擬試験（START） 	<ul style="list-style-type: none"> 就職を意識しはじめ先輩など周辺から情報収集（部活・サークル等を活用しての先輩訪問開始） 	<ul style="list-style-type: none"> 内々定の取得開始 未内定者への個別指導
5	<ul style="list-style-type: none"> 一般常識1:時事A 一般常識2:漢字 一般常識3:プレゼンテーション 一般常識4:時事B 	<ul style="list-style-type: none"> 一般常識対策 言語(長文読解) 	<ul style="list-style-type: none"> 自己分析 職業観・キャリアプラン SP1試験対策(言語・非言語・一般常識) 	<ul style="list-style-type: none"> 自己分析 —自己PRのために自身を知る 業界研究 —どんな職業があるのか。 企業研究 —どんな会社があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 未内定者への個別指導
6	<ul style="list-style-type: none"> 一般常識5:作文 一般常識6:マナー 自己分析 キャリアプラン 	<ul style="list-style-type: none"> 一般常識対策 非言語(基礎) 新聞の読み方 一般常識対策A(時事・経済・産業など) 	<ul style="list-style-type: none"> SP1試験対策(言語・非言語・一般常識) 		<ul style="list-style-type: none"> 未内定者への個別指導
7	<ul style="list-style-type: none"> 今後のキャリアデザインについて 新聞の読み方 社会人基礎力について まとめ・基礎学力試験 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション能力:聴く力 コミュニケーション能力:話合う力 一般常識B(国語・社会生活・文化など) まとめ・全体的復習 	<ul style="list-style-type: none"> SP1試験対策(言語・非言語・一般常識) まとめ・模擬就職試験 ビジネスマナー講習会1 		<ul style="list-style-type: none"> 未就職者のための学内ガイダンス 未内定者への個別指導
8		〈夏季インターンシップ〉	〈夏季インターンシップ〉		<ul style="list-style-type: none"> 未内定者への個別指導
9			<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション・簡単な一般常識試験 		<ul style="list-style-type: none"> 未就職者のための学内ガイダンス
10			<ul style="list-style-type: none"> J-NET登録 新聞の読み方 業界研究・企業研究・職種研究〈金融セミナー〉 	<ul style="list-style-type: none"> 就職ガイダンスに参加 就活サイトに登録 キャリア支援センター訪問(個別面談) 	<ul style="list-style-type: none"> 内定式 未内定者への個別指導
11			<ul style="list-style-type: none"> 自己分析とPR エントリーシート・履歴書の書き方 グループディスカッション指導 模擬グループディスカッション 面接指導 〈個別面接指導開始〉 	<ul style="list-style-type: none"> 志望業界、企業を絞り込む 合同説明会に参加 会社説明会に参加 キャリア支援課での面接練習 	<ul style="list-style-type: none"> 未内定者への個別指導
12			<ul style="list-style-type: none"> SP1試験対策(講義) SP1試験対策(模擬試験・解説)〈就勝特別講座〉 〈学内企業セミナー〉 	<ul style="list-style-type: none"> 企業へのエントリー開始 	<ul style="list-style-type: none"> 未内定者への個別指導
1			<ul style="list-style-type: none"> SP1試験対策(模擬試験・解説) まとめ ビジネスマナー実践編 	<ul style="list-style-type: none"> エントリーシート・履歴書の記入 	<ul style="list-style-type: none"> 未内定者への個別指導
2			〈就勝特別講座〉	<ul style="list-style-type: none"> 人事面談スタート 	<ul style="list-style-type: none"> 未内定者への個別指導
3				<ul style="list-style-type: none"> 入社試験スタート 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式
4				<ul style="list-style-type: none"> 内々定の取得開始 	<ul style="list-style-type: none"> 入社式



文学と人

研究室
だより

経営学部教授

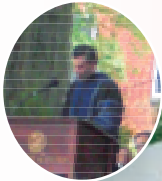
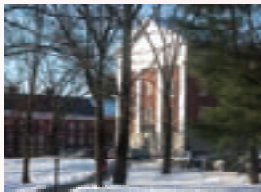
古口 博之 先生



19、20世紀アメリカとイギリスの文学、とりわけ詩の研究をしています。特にイギリス文学においては文学と云えば伝統的には詩のことを指します。現在ポピュラーな小説などは近代に発生してきたもので比較的新しいのです。私の場合は特にアメリカの詩の方を中心に研究していますが、メイジャーな詩人等はお互いに影響し合っていますので、すべて読まなければなりません。Whitman, Pound, Eliot, Stevens, Williams, Sandburg, Bishop 等研究対象となる詩人は多数おり枚挙のいとまがありませんが、そのなかでも Emily Dickinson や Wallace Stevens という詩人は数年をかけ研究しました。その研究成果は本二冊に纏め出版しております。ディケンソンの方は Emily Dickinson and the Romantic Poets (1999) と日本に、そのスティーヴンスの方は Essays on Wallace Stevens (2004) という本になっております。ともに詩人論ですが、英文で書かれてあるので日本の読者にはなじみがないかもれません。しかし、学会等の日本語による書評対象になっていきますのでその書評は読むことができます。詩は言葉(ないしは文学)の華と言われ書くにも読むものにも高度な言語感覚が必要



とされます。知性と感性を同時に育てなければなりません。それをすぐれたレベルまでに有している頭脳は稀有です。すこしでも自己の詩境を深くし広げようとして毎日努力しているわけです。2010年には昨年度の米国在外研究の後、ディケンソン学会等の発表が予定されているので、現在その用意をしているところです。



アーマスト大学と卒業式

PROFILE

栃木県1956年生まれ。獨協大学外国語学部英語科を卒業してから専攻科を修了。その後、米国のミシシッピ大学大学院英文科に留学。MAそしてSEを取得。この時の対象はノーベル文学賞受賞者のウィリアム・フォークナー。アメリカ南部の文学を中心に研究を進めた。帰国後、研究対象を詩に移行し、関東地域の千葉大学、獨協大学、神田外語大学で教えた後、平成5年岐阜経済大学経済学部に着任。翌年経営学部へ移籍。平成19年~20年在外研究のため米国アーマスト大学に留学。

趣味拝見

囲碁と短歌がもつぱらの趣味。囲碁の腕前は四段といったところです。最近はインターネットで碁がうてるようになりパングネットという碁のネット会員になっています。碁は頭と感性の訓練にはもってこいです。短歌のほうは現在「幻桃」の会員です。短歌は詩の研究に関連していますので、勉強になります。学生にも知性と感性を同時に磨いてほしいですね。



アーマスト大学囲碁クラブ

企業人育成コースの科目 「地域企業研究Ⅰ」の講師として、 株式会社トーカイの大野隆章 副社長をお迎えしました。

4月15日(木)、「地域企業研究Ⅰ」の授業において、企業人育成コースの協力企業である株式会社トーカイの大野隆章代表取締役副社長を講師としてお招きしました。

企業人育成コースは、2009年度から始まったカリキュラムで、経済学科の教育課程を基礎にして、岐阜県の西濃を中心とする地域の企業に就職し、この地域で活躍するに相応しい人材を養成することを目的としています。

第一回のテーマは「我社の歴史—事業多角化そして『選択と集中』」、講義は、「カンパニープロフィール(会社概要)」から始まり、「創業—事業多角化」、「事業の選択と集中」へと進みました。「企業は人と社会をよりよくするために存在し事業を展開する。時代の変化、人と社会の変化に適



応していかなければならない。…事業には持続性は無いが、企業は、持続性を求められる。」「事業には、導入期、成長期、成熟期、衰退期があり、会社の事業がどの時期にあるかを常に見極め、事業展開を考えなければならぬ。」「など、企業が存続していく厳しさを語っていただきました。企業経営の第一線に立つ大野先生の迫力に満ちた言葉に学生たちも深く聞き入っていました。

情報メディア学科に、映像プロモーション論の授業を開講します。

今年度から講師として、東急エージェンシー名古屋支店の営業部長である宮川一興さんをお迎えして、4月8日(木)に最初の授業を行いました。

宮川先生には、現在、企業のマーケティング部門や広告会社等で行われている最新のマーケティング技術と映像プランニング技術を、わかりやすくまとめたテキストを用意いただきました。

第一回目の講義は、ブランドとは何か、コミュニケーションサイトとは何かなど現在



の広告実務に触れることのできる講義が、有名企業の広告事例を織り交ぜながら展開されました。今後は、マーケティング戦略やコミュニケーション戦略の講義が行われ、映像技術に関する授業では、現在のCMプランナーも加わり実技指導も予定されています。



近著紹介



森 誠一 教授
共同執筆 朝倉書店
2010年1月

本書は、全国の100本以上ある1級河川を中心に、我が国の最先端の河川工学者や河川生態学者などの執筆陣によって、各河川の自然、治水、利水や歴史文化の特性を簡潔にまとめられた。いずれの河川も、特徴的な自然環境をもちながら、氾濫を繰り返して全国でも有数の広さの平野を形成している。その地には、豊かな水資源の恩恵を受けて穀倉地帯を作り、産業を興して、人の生活が営まれており、人と河川の密接な結びつきを説いている。

森教授は、本校の近くを流れる「揖斐川」と、自身の長年にわたる調査対象である「最上川」を担当執筆している。



森 誠一 教授
共同執筆 朝倉書店
2010年1月

本書は、野生動物の現状を危機的にあるものが多く、実際に絶滅し、また絶滅に瀕しているものと論じている。そうした生物の激減は、生態環境の劣化や脆弱によつて起るものがほとんどである。森教授はハリネズミを中心とした湧水魚トゲウオ科の生態、行動、形態、遺伝を長年にわたって研究してきた成果に基づき、本書のうちで「湧水」と魚類の保全を分担執筆して、科学的知見を保全に活用すべくシナリオを提供している。特に「湧水性の魚類」という概念を科学的に取り上げ、その実態とその悪化を指摘し、保全に向けて具体的な対策を提言している。



森 誠一 教授
共同執筆 勉誠出版
2010年1月

本書で、森教授は、数年前から新聞マスコミヤ講演などで唱えてきた「日本川国論」を、

さらに展開している。日本は山間部が7割を占める山国であり、このことはそれだけ起伏や谷あいが多く、同時に川が多いことを意味する。その急流である川は多くの土砂を運搬し、流域に人が生活する場としての平地や扇状地、河岸段丘を形成してきた。人は、水害との闘いを続けながらも、次第に稲作を中心に農業地帯をなし、近代に至つて川を水資源として工業を興し経済大国に成り得た。まさに国の成り立ちという面からも、我が国は川に大きく依拠している「川の国」といえるのである。



森 誠一 教授
共同執筆 東北出版企画
2010年1月

ここ数十年、森教授は、鳥海山麓の遊佐町(山形県)で、水生生物の生態や人と水の関係を調査している。その成果の一つとして、本編集本に「鳥海山麓の湧水と人の生活」を寄稿した。この町は鳥海山の南麓のほとんどもを占め、その山の豊かな水を保証する典型的に顕現されている地域であり、湧水生態系を研究する上で非常に適した場所である。また、それは人が水と適度に関わってきたかを知るためにも、この地域ならではの興味深い自然や歴史の特性、一般共通する普遍的な課題を提供してくれている。



齋藤 悦子 教授
共同執筆 ミネルヴァ書房
2010年4月

本書はジェンダーの生活経済論(伊藤セツ子編著、2010年刊)の全面改訂版である。現在の新しい家族、世帯のあり方を十分に踏まえ、生活経済における課題に、福祉社会における主体的生活経営という視点を入れ鋭く迫る。給与所得者世帯の収入の源泉である賃金と企業の社会的責任を結びつけるほか、自営業や年金生活者といった非給与所得者世帯の家計収支についても目を向けた。アンケートワーク、多重債務問題についても触れている。齋藤教授は第3章「雇用と賃金に対する企業の社会的責任」を執筆している。



山田 善久 教授
共同執筆 三修社
2010年4月

本書は、大規模コーパス(言語資料)を活用した初の独和辞典。使用頻度調査に基づき重要語の選定やコロケーション(連語)調査による用例の見直しを行ない、より使いやすく実用的な記述を実現している。ここ十年、二転三転している綴り方のルール(正書法)も2009年最新版に対応し、従来の正書法も全面的に表記した唯一の独和辞典。見出し語数は7万3500語で、学習者から専門家まで幅広いニーズに応えられる。和独も約1万3500語と充実している。

山田教授は、編集委員として全体的な構成とチェック、重要語の選定などを担当し、具体的には、見出し語、AccesspointからAurivaudinまで(64~124)、IT及び環境関係の前門語彙約1200語)の箇所を担当している。



樋下田 邦子 准教授
佐藤 八千子 准教授
共同執筆 久美
2010年3月

本書は、岐阜県社会福祉士会会長高嶋淳が中心となり、保健医療福祉の専門家が「子ども」の豊かな育ちを擁護するという視点から共同研究してきた成果である。本書は、不登校や暴力行為、いじめが深刻化するなかで「まもる」「ささえる」「つなぐ」「くぐる」ソーシャルワークの機能を活用して、地域を育てる地域づくり、子どもと豊かな育ちの擁護を実践するためのガイドブックとなる。子どもが健全に育つ権利は全ての子どもが持つことであること、社会福祉士・介護福祉士・保育士や特別支援学校、教職を目指す学生だけでなく、小中学校などの教育者に是非読んでいただきたい。

樋下田准教授は、「第5章子どもの育つ権利の擁護」で、児童福祉法、都道府県、市町村の役割、地域福祉からの支援などについて執筆している。

佐藤准教授は、「第7章スクールソーシャルワーカーの実践」の「3節児童虐待」を執筆している。

かがやきカレッジ・支援講座を開催します。

岐阜経済大学は、大垣市と共催で開講する「かがやきカレッジ」の受講生を募集します。

- ※受講料 無料
- ※申し込み 希望する講座番号と氏名・住所・電話番号を岐阜経済大学総務課(0584-77-3511)へ
- ※申込み期間 5月17日(月)～

《かがやきカレッジ》

●場所/岐阜経済大学 ●開始・終了時間/18:30~20:00

- 1 **・イノベーションが生活や社会を変える(1)** 6/8(火)
・イノベーションが生活や社会を変える(2) 6/15(火)
黒川 博 経営学部教授

イノベーションとは簡単に言うと、「新しいことを新しい方法で行うこと」(J.A.シュンペーター)で、私たちの生活や社会が変わる原動力の一つとなっています。本講義では、このようなイノベーションについて理論的なアプローチを試みるとともに、幾つかの事例を紹介します

- 2 **・こんなとき、どうする身近な民法(1)** 6/22(火)
・こんなとき、どうする身近な民法(2) 6/29(火)
桑原茂樹 経済学部講師

本講義では、冒頭で六法全書および六法の中の民法について概略的説明をします。その上で、具体的内容として、まず、①交通事故などを想定して不法行為(民法709条以下参照)に関する話をします。次に、②売買契約や賃貸借契約(民法555条以下・601条以下参照)をはじめとする契約に関する話をします。消費者契約法や製造物責任法についても適宜言及します。

- 3 **・JR福知山線脱線事故と「責任問題」** 7/6(火)
・CSR(企業の社会的責任)論は「責任問題」をどう捉えるか 7/13(火)
中村共一 経営学部教授

JR福知山線脱線事故を事例として、事故の「企業責任問題」を取り上げていきたいと思えます。電車の「輸送サービス」(生産物)は、悲惨な事故のなかで、「経済的責任」をこえた「社会的責任」を問われています。事故は、その「責任のあり方」を根本的に問いなおす課題を提起しているものと思えます。

- 4 **・最近の経済情勢** 7/20(火)
・これから柱となる産業は? 7/27(火)
河村宏明 共立総合研究所主任研究員
(大垣共立銀行協力講座)

最近景気回復が続いている日本の地、アメリカ、中国等海外諸国の足元の経済情勢について解説いたします。また今後の見通しについてや低炭素社会に向けて、様々な取組みがなされているが、今後日本経済の柱となる産業は何か?環境、エネルギー問題を含めて解説します。

大垣市と岐阜経済大学は、学び続ける人生を応援します!

大垣市と岐阜経済大学は、ともに皆様の生涯学習の機会を積極的に提供します。かがやきカレッジは、誰でも学ぶことができます。いつもと違った視点から、今年は学んでみませんか?皆様のお越しをお待ちしております。

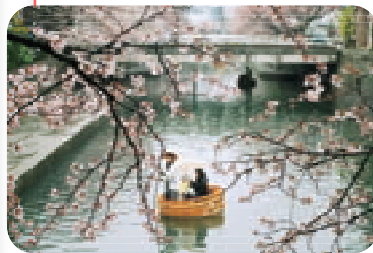


キャンパス 彩々 Campus Saisai

大垣市のたらい舟川下りで 本学学生が船頭を務めました。

今年も桜の咲く中、たらいに乗ってゆっくりと水門川をくだる「たらい舟川下り」が始まり、第1日目の4月1日(木)は、たらい舟6艘のうち3艘の船頭を本学マイスター倶楽部の学生が務めました。この川下りは、大垣市観光協会が主催で2003年から開催され、マイスター倶楽部では2004年から毎年学生が船頭役を務めています。日頃のまちづくりの実践学習の一環として、学生たちは乗客の方とのコミュニケーションも大切にしています。

船頭役を務めた学生の一人、小川尚紀さん(大学院経営学研究科2年)は、「あいにくの雨模様でしたが、桜がきれいに咲いている所では、たらい舟をできるだけ近づけ、桜を楽しんでいただくよう心がけました。県外からたらい舟に乗るためにお越しになる方も多く、日頃のマイスター倶楽部での学習を生かし、大垣のよさをPRすることができました」と感想をのべました。



尚、この模様は、4月1日ぎふチャンのワイド・タワー43でも放送され、4月3日(土)同局の「フォーカスぎふ」では、小川尚紀さん、西野靖弘さん(経済学部経済学科2年)のインタビューの模様も紹介されました。

スプリングオープンキャンパスを 開催しました。

3月21日(日)、スプリングオープンキャンパスを開催しました。あいにく雨の中でしたが多数の高校生、保護者の参加がありました。最初に、入試広報課から学部、学科の内容と入試制度の説明、クラブ活動の紹介などがあり、その後、経営学部経営情報学科(現情報メディア学科)4年次生の松原千里さんが加わり、入試広報課職員と松原さん二人によるトークショー形式で、大学生活の説明が行われました。内容は、仲間の学生と吹奏楽部を立ち上げた経緯とそのサークル活動の楽しさ、フランスでの短期語学留学の様子、現在の目標である教職免許取得等、様々な話題で展開されました。

全体説明会終了後は、4つのミニ講義「時給1200円のアルバイトやる?やらない?」、「脳を活性化させるレクリエーション」、「プロ野球のマネジメントー北海道日本ハムファイターズの事例を中心に」、「情報メディアの商品開発」から関心のある講義を受講し、大学の学びに触れていただきました。

午後からは、食堂のランチ体験、さらに個別懇談が開催され、現在関心のある学科について大学の教員から教育内容などわかりやすい説明を受け、参加した高校生からも大学で取得したい資格など熱心な質問がありました。グループ単位での学内案内ツアーも行われ、大学を肌で感じる充実した日となりました。



第44回(2010年度)入学式を挙りました。

4月3日(土)、本学講堂にて第44回入学式を挙りし400名が入学しました。

式は、谷江幸雄学長の式辞、土屋嶋理事長の挨拶と進み、在学生を代表して、小田純樹さん(スポーツ経営学科4年 名城大学附属高校出身)が祝辞を述べ、新入生代表として、蒔田悠介さん(経済学部経済学科 飛騨神岡高校出身)が挨拶を述べました。

式終了後、新入生に対し、個別の入学ガイダンスが行われ、学生証の配布や、これからの大学生活での心構え等が説明されま

した。保護者には、入学生父母対象講演会が行われ、三尾美紀保健師が「よりよい学生生活が送れるために一保健支援者として思うこと一」をテーマに講演を行いました。

午後からは、学生会主催の新入生歓迎会が行われました。歓迎会は、食事をしながら個別のクラブ紹介が行われ、学生応援ソング「Campus Life」も初披露されました。最後にじゃんけん大会があり、景品を競って盛り上がりましました。いよいよ始まる大学生活に、ますます期待を膨らませた新入生たちでした。

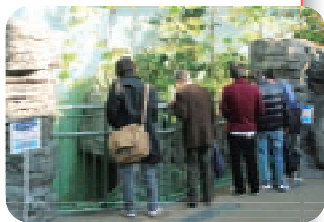


経済学部石原・木村教授の基礎演習授業において現地調査として岐阜県世界淡水魚水族館アクア・トトぎふを訪問しました。

1月13日(水) 経済学部木村隆之教授、石原健一教授引率のもと、それぞれの基礎演習の受講生計13名が、岐阜県の河川環境・希少な水生生物から岐阜の地域特性を学ぶことを主目標に、現地調査・体験学習の一環として、岐阜県世界淡水魚園水族館「アクア・トト・ぎふ」を訪問しました。

本学と「アクア・トト・ぎふ」とは、2008年7月に連携協定を締結しています。最初に職員の方から「アクア・トト・ぎふ」の設立の経緯などを説明いただき、館内の展示を見学しました。

木村基礎演習で今回の幹事を務めた寒河江智己さん(経済学科2年)は「岐阜県の河川環境・淡水魚の特色について学ぶことができ、有意義な経験となりました」と感想を述べるなど参加者それぞれが岐阜県に生息する希少な水生生物とそれらが絶滅に瀕している現状について理解を深めることができました。



大垣桜高校生と一緒に福祉マップ作りを行いました。

本学は高大教育連携協定の一環として、大垣桜高校において高大連携授業を実施しています。福祉科1年生の生徒に対し、経済学部樋下田邦子准教授、佐藤八千子准教授、山田武司准教授の指導のもと、6回の授業を行ったもので、

12月10日(木)は、本学臨床福祉コミュニティ学科2年生の学生17名も協力し、フィールドワークを実施しました。福祉マップを作成するため、大垣桜高校周辺の墨俣地区を実際歩き、「こども」「高齢者」「障害者」「健常者」「聴覚障害者」の5つの視点のグループに分かれて調査をしました。

5グループはそれぞれあらかじめ分担した地域をおよそ1時間にわたって歩き、各視点から観察しました。さらにフィールドワークを進める上で、①現状把握②予想される問題③考えられる工夫④墨俣地区の良さ、強みを見つけ強化する方法を考えるという4点に留意して福祉マップを作成しました。



日本サッカー協会サッカーC級コーチ修了証授与式を行いました。

4月3日(土)の入学式後の学生表彰に引き続き、日本サッカー協会サッカーC級コーチ修了証授与式が本学講堂にて行われました。

スポーツ経営学科の学生は、「トレーニング演習」、「コーチング演習」(ともにサッカーC級コーチ資格取得授業)を受け、所定の試験に合格することにより、日本サッカー協会から同資格の認定を受けることができます。今回の対象者は15名で、そのうち6名がサッカー部に所属しています。

サッカーC級コーチは、地域においてスポーツ活動を実施している指導者、及びこれから指導者になるとする者を対象に、12歳以下の選手・子どもたちに関わるグラスルーツで活動する指導者の育成を目指したカリキュラム構成となっています。内容は、発育発達、技術・戦術理論、コーチング法、プランニングなどに関する13時間の講義と、ボールフィーリング、ゴールを奪う、シュートなどの22時間に及び実技とからなっています。

授与式では、上川樹さん(スポーツ経営学科4年)が代表で、修了証が授与され、その後、ひとりひとりに対し、高橋正紀教授より修了証が手渡されました。



名古屋市等が主催する大学発ベンチャービジネスプラン「学生ビジネス部門」で本学学生が優秀賞を受賞しました。

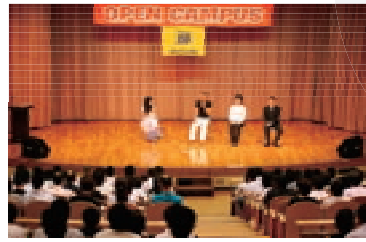
1月15日(金)、名古屋市のメルパルクNAGOYAにて、名古屋市と(財)名古屋都市産業振興公社、名古屋市新事業支援センターが主催する大学発ベンチャービジネスプラン「学生ビジネス部門」で村井顕識さん(経営情報学科4年 ソフトピア共同研究室所属)、竹中邦明さん(大学院経営学研究科1年)、土屋敏弘さん(大学院経営学研究科1年)、山本健一さん(情報メディア学科3年)、川合倫巧さん(経済学科2年)が優秀賞を受賞しました。本年度の同部門には11大学から応募があり、43作品の中から最も優秀という評価をいただきました。

プランテーマは、「現実空間のモノと情報資源のスペースを一体化するシステム」であり、現実空間のものにQRコードを貼付することによって、リアルタイムに情報を書き込んだり、更新することができるようになります。

優秀賞の特典として今後、このテーマをビジネスに活用したいと考える企業とのマッチングする機会も与えられました。



2010年度 オープンキャンパスを開催します。



岐阜大オープンキャンパスのコンセプトは、「コミュニケーション」です。
参加者の皆さんと大学スタッフがどれだけ近づいた会話ができるかを目指しています。大学の中身を伝えたいと強く思う教職員や在学生の情熱を感じ取ってください。そして、4年間自分が学ぶ環境としてふさわしいかをしっかりと見てもらいたいと思います。自分の学生生活がイメージできるかは重要なことですよ。

そこで、本学の「活気、元氣、明るい、おしゃれ、親切、丁寧、自由、楽しい、キレイ」に触れることで、イメージが膨らめば4年間の学生生活は、とびっきり輝くと思います。何かを感じ取る姿勢を持って参加して、ゆっくりでも一歩から前進する大切さを岐阜大オープンキャンパスから始めてみませんか？

日程 (時間:10:00~15:00)

- メイン・オープンキャンパス 8/1(日)、8/21(土)、9/19(日)、10/10(日)
- 学園祭オープンキャンパス 11/20日(土)・11/21(日)
- クリスマスオープンキャンパス 12/23(木・祝)
- スプリングオープンキャンパス 2011年/3/20(日)

メニュー

在学生トークショー/学部学科紹介/集中力のトレーニング体験/ゼミ体験(8/1、8/21、9/19、10/10予定)/保護者説明会/個別相談/キャンパスランチ体験/キャンパスガイドツアー(施設案内)

会場一覧

開催日	6/19(土)	7/4(日)	6/27(日)
地区	本学会場	浜松会場	沖縄会場
会場	岐阜経済大学 大垣市北方町5-50 ☎0584-77-3511	グランドホテル浜松 浜松市中区東伊場1-3-1 ☎053-452-2114	ホテルJALシティ那覇 那覇市牧志1-3-70 ☎098-866-2580
開始時刻	総 会:10時 父母懇談会:11時	13 時	11 時

2010年度親和会総会・父母懇談会を開催します!

ご父母の皆さまと大学との理解を深めるため、今年も父母懇談会を開催します。
当日は大学概要、成績及び就職に関するガイダンスのほか、日ごろの疑問点や悩みを直接聞くことのできる個別懇談も予定しています。
毎年、多くの皆さまが参加していますので、この機会に同郷のご父母の皆さま同士つながりも深めていただければ幸いです。
今年も多くの皆様のご来場をお待ちしています。

教職員人事

新規採用



梅木 真寿郎
経済学部講師
龍谷大学大学院
修士課程修了



徳永 俊太
経営学部講師
京都大学大学院
博士後期課程



山本 亜紀
財務課主事
愛知県立大学卒業



川島 弘治
スポーツ指導職員
大阪商業大学卒業



小木曾 隆臣
嘱託
教務課
(社会福祉実習室)
南山大学卒業



川崎 千明
嘱託
(入試広報課)
日本体育大学
大学院博士
前期課程修了

昇格

2010年4月1日付

高橋 勉
経済学部教授(准教授)

神谷 拓
経営学部准教授(講師)

大野 貴司
経営学部准教授(講師)

松井 典子
事務局長兼理事(専任)

安田 天
企画広報課長(兼)

堀江 淳也
企画広報課長(兼)

大江 春彦
総務課主査(主事)

吉形 高志
キャリア支援課主査(主事)

配置転換

2010年4月1日付

高木 恭子
入試広報課主査

塚原 康之
キャリア支援課主査

尾崎 和美
総務課主事(学生課主事)

吉田 大介
学生課主事

国内留学

2010年6月21日付

稲垣 慶成
経営学部教授

山田 壮志郎
経済学部准教授

ジェラルデン・アン・トウィリ
経営学部准教授

渡辺 貴裕
経営学部准教授

池尾 昌紀
キャリア支援課主査

後藤 寿彦
客員教授

林 敏明
専門員

退職

2010年6月20日付

山田 賢治
客員教授